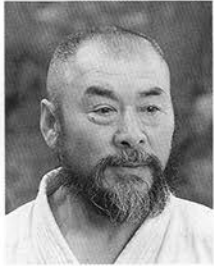


いきいき  
新庄人

日本の伝統武道を世界へ!

岸空手道場

師範 岸 信行さん(飛田)



「空手を通して、精神の集中力や忍耐力を養い、自分自身をコントロールできる“こころ”を育てたい」と話す岸さんは、市内の道場で子どもたちや社会人を対象に空手の指導を行っています。

「わたしが空手をはじめたのは、高校卒業後。子どものころからあこがれていた空手をするために極真会館に入門しました。その後、極真空手の普及のために台湾やヨーロッパなど世界各国で空手の指導を行い、30歳のときにニューヨークで“岸空手”を設立しました。現在は、ニューヨーク道場と20年前に開いた新庄道場と2つの道場の師範を務めています。

6月に還暦を迎え、いままで自分を育ててくれたことへの感謝として飛田・熊野神社で奉納演武を行いました。演武には、ニューヨーク道場の弟子たちも駆けつけ、地域の人たちも大勢集まってくれました。

60歳をひとつの区切りとして、自分自身の精神修行を続け、空手を通して多くの人の“こころ”を育てたいです」と岸さんはまっすぐな眼差しで話してくれました。



いきいき  
市民団体

ふるさと再発見!  
ホームスパンでまちおこし  
「新庄ひつじネットワーク」



◎新庄ひつじネットワーク  
事務局・伊藤 ☎22-4861

新庄ひつじネットワークの活動は今年で十年目を迎えました。ホームスパンとは、手紡ぎ・手織りの毛織物のことで、新庄は戦前から昭和三十年代にかけて旧積雪

地方農村経済調査所でホームスパンの研究・指導が盛んに行われ全国への普及活動の拠点でした。

平成十年度に文部省の女性の社会参加支援特別推進事業の委嘱を受けて市内四団体が実行委員会を組織し、「ふるさとを再発見し自分たちの可能性を探ろう」をテーマに①ホームスパンの掘り起こし②手仕事の可能性を考える③自然と環境を考えるの三本柱で事業を展開、それが縁で翌年、ホームスパンに使用される機械を譲り受け、有志により「新庄ひつじネットワーク」がスタート。現在は、エコロジーガーデン「原蚕の杜」でホームスパン教室の開催やフェルトづくりなどをを行っています。

グマシーンと呼ばれるもので、羊毛をすいてふわふわにしたり、カラーブレンドを行うことができ、毛ももとは柳悦孝氏(元女子美術大学教授)のアトリエで使用されていたもので、面白いことに製作が株式会社新庄機械製作所(大阪市東淀川区下新庄町、昭和二十四年製造)なのです。

これまでの活動を通して、人と人、情報のネットワークの広がりを実感しています。一本の毛糸がより合わさって糸になり織り上げられて大きなタペストリーになるように、新庄を魅力あるまちとして人が集う場所にできたら…。

エコロジーガーデンの素晴らしい環境をいかして何かできないか…今後の目標です。

いきいき  
企業

株式会社  
エッサム新庄工場  
(福田)



当社では、カラーパンフレットをはじめ各種伝票封筒・特注ファイルなどの一般印刷物のほか、六色力

ラーゴム印や木製ゴム印などの事務用品を生産しています。また、コンピュータ部門では、税理士事務所専用の財務・税務ソフトの開発を行っています。

営業拠点は、北は札幌から南は熊本まで全国十三都市におよんでおり、安定した営業基盤により、最高の商品とサービスをお客さまへ提供しています。唯一の生産拠点である新庄工場では、通信販売による受注・生産を行い、全国の会計事務所などに発送しています。

当社の社是である「信頼」を、目に見える形の商品とサービスの品質に換えて、お客さまである会計事務所や企業の業務向上に役立てていただくことで、地域社会の繁栄に貢献したいと考えています。